

経管栄養（胃ろう）のケアを要する幼児（4歳児）の保育所における配慮

施設名	K 保育所（公立）					
対象クラス	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	<input checked="" type="checkbox"/> 4 歳児	5 歳児
対象クラスの子どもの人数	24 名		対象クラスの保育者の人数	3名		
基礎疾患名	低酸素性虚血性脳症、てんかん					
医療的ケアの類別	喀痰吸引（口腔・鼻腔内）		喀痰吸引（気管カニューレ内部）		導尿	
	<input checked="" type="checkbox"/> 経管栄養（胃ろう・腸ろう）		経管栄養（経鼻）		インスリン注射	
	その他医行為（ <input type="checkbox"/> ）					
看護師の配置	<input checked="" type="checkbox"/> 常勤	<input type="checkbox"/> 非常勤	<input type="checkbox"/> 訪問看護の利用	<input type="checkbox"/> その他（ <input type="checkbox"/> ）		
看護師による保育活動へのかかわり			無（医療的ケアの手技のみ）			
			<input checked="" type="checkbox"/> （活動に応じて援助する）			

【受入れの経緯】

入所年齢	4 歳児
入所のきっかけ （問い合わせ主体など）	保育所入所までの2年余り、市内療育施設に入所していた。 4歳児を迎えるにあたり、地域の保育施設で過ごすことを希望したため。

【受け入れ可能性の検討】

・保護者との面談内容

保護者の願い＝地域と同じ年齢の子どもの中で過ごさせてやりたい。

保育所での生活により、生活リズムを整え、他児とのふれあいを通じて集団生活の楽しさを味わわせてやりたい。

母の就労により、保育認定での入所を希望する。

施設はできるだけバリアフリーに近い施設を希望する。

・市の医療的ケア児への対応についての説明

看護師・保育士の役割、必要書類の準備、施設見学等について

・保育所での生活に必要な医療的ケアの具体的な内容についての聞き取り

日々のケアの内容・留意点・医師等関係機関との連携 等

【受け入れに際しての確認・調整・共有事項】

【確認事項等】

・医師の意見書により、必要な医療的ケアの内容と保育提供にあたっての留意点等の確認

・医療的ケア実施にあたっての保護者同意の確認（実施する医療的ケアについて、主治医との連携につ

いて、医療機器等の衛生管理および取扱いについて、保育所生活に慣れるための保育の実施について、体調管理および体調不良時の対応について、看護師対応について、緊急時の対応について、利用開始後の健康状態の変化に伴う取扱いについて、個人情報にかかる取扱いについて)

・入所時説明会と個人面談の実施(保護者・本児・所長・看護師・調理師)

(保育所生活についての説明および必要な対応についての確認)

#### 【関係機関との連携】

・草津市特別支援処遇委員会での看護師の配置等についての審議・検討結果の報告受信

・療育施設との引継ぎにより、保育所生活における配慮事項等の確認

・主治医より医療的ケアについての指示書をいただき、関係者間でカンファレンスを実施。医療的ケアや保育所生活(保育活動への参加の可否・具体的配慮)についての指導を受ける。(保護者・本児・所長・看護師)

#### 【慣らし保育】

・慣れるための保育の進め方についての検討(保育環境の見直し、ケアの場所の確保、初めの食事は保護者の付き添いを依頼)

#### 【保育計画・支援計画の作成】

・保育計画・支援計画は、クラス担任と協働しながら、障害児加配保育士が主となり作成する。

・看護計画については、医療的ケア看護師が主となって作成する。

・保育計画・支援計画・看護計画については、医療的ケア児にかかわる担当者間で共有し、日々の保育が豊かに展開されるよう進める。


・支援計画および看護計画については 定期的に保護者への開示を行い、互いに情報共有を行いながら支援がより充実するようにする。

#### 【他の子どもや保護者への説明】


・日々生活や遊びを共にする中で、子どもたちが感じたことを受け止め、質問に応じたり、ケア中に気を付けてほしいことを説明したりしている。

・保護者への説明の機会は特に設けていない。

【実際の医療的ケアの内容】

ケアの頻度	一日に3回	実施者	<input checked="" type="checkbox"/> 看護師 <input type="checkbox"/> 保育者 <input type="checkbox"/> その他
医療的ケア時の場所	保育室内のケアコーナー	準備物	医療的ケア 注入用品 【接続用チューブ、カテーテルテープ、栄養剤(ラコール)、ソリタ水】
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・PEG(胃ろうチューブ)の事故抜去が起こらないよう本児の不意な手の動きや他児の注入周囲への介入に注意している。</li> <li>・注入速度、注入時間を守り、腹部不快を起こさないように配慮している。</li> <li>・生活の流れや遊びを大事にするため、その日の活動内容や流れを考慮しながら、適切なケアのタイミングを見計らうとともに、担当の保育者と共に相談しながら実施している。</li> <li>・ケア中も本児と他児とのかかわりが途切れることなく、保育が自然な形で展開されるよう、個別に配慮しながらも、ケアコーナーをオープンな形に保っている。そのことにより、他児の本児に必要な医療的ケアに対する理解へとつながることを願っている。</li> </ul>	

【特に配慮を工夫した保育活動】

活動内容	リズム活動(運動遊び)	援助者	保育者	看護師	その他
場所	遊戯室	準備物	マット・雪遊び用のそり・縄		
		<p>・リズム活動では、他児と同じ動きを行うことが難しいため、本児なりに友達とリズム運動が楽しめるよう、本児に寄り添ったリズム運動の内容を職員間で検討し合った。</p> <p>・「どんぐり」というリズム運動では、本児と他児が寝ころんで手を繋ぎ、友達の回転する動きに合わせて本児も回転するという方法を探ったことで、本児自身が友達とする楽しさや満足感を味わうことができた。</p> <p>・「そり」というリズム運動では、他児とともに駆け回ることができないため、雪遊び用のそりを活用した。他児がそりに乗る本児を引っ張りながら一緒に進むよう工夫した。初めは縄を引っ張る力加減が難しかった他児も、次第に引っ張り方を考えたり、工夫したりして、本児とともに楽しむ姿が見られた。</p>			

【ケア会議(園内カンファレンス等)の実施と職員間の共有】

ケア会議参加者	所長・副所長・保育士・医療的ケア担当看護師・保健担当看護師
頻度	随時
共有の仕方	会議形式
<p>【保育内容や身体介助にかかる内容について】</p> <p>参加者: 所長・副所長・家庭支援推進保育士・担任保育士・障害児加配保育士・医療的ケア担当看護師</p> <p>確認事項: 保育内容や保育環境・医療的ケア実施に当たっての環境についての検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所等訪問支援実施後の内容共有と作業療法士より指導を受けた身体介助方法について共有</li> <li>・医療的ケアの内容や変更事項等の確認について共有</li> <li>・保護者との連携状況について共有</li> </ul> <p>【医療的ケアについて】</p> <p>参加者: 医療的ケア担当看護師・保健担当看護師・(所長・副所長・担任保育士・障害児加配保育士は内容により参加)</p> <p>確認事項: 現在の健康状態について共有</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な医療的ケアの方法等について共有</li> <li>・処方薬の確認について共有</li> <li>・保護者との連携状況について共有</li> </ul>	